

大阪実行委員会ニュース

連絡先：大阪府中央区谷町7丁目3-4 新谷町第3ビル210号室 大阪原水協 TEL(06)6765-2552

89歳、まだ生きてがんばります



被爆証言活動
続けていきます

府内行進五日目の七月四日、住吉区役所(旭区役所コース)が始まりました。大阪市内での六綱の目コースが行われ、幹線コースに合流。大阪市内での最大の国民平和行進の日です。このコースには、毎年、行進団を励ましてくれる被爆者の方がいらっしやいます。

住吉区万代在住の高木静子さんです。出発集会でメッセージが披露されました。「御参加のみなさん、御苦労様です。特

☆平和行進を励ます高木さん

沖縄平和行進

大島 守さん 沖縄レポート



1日目、辺野古ゲートへの途中でオスプレイが墜落した付近を見た。ゲート前でシュプレヒコールをした後、座り込みに参加。連帯の挨拶の中で、戦没者の遺児として憲法を「戦没者の遺言憲法九条」として話をした。

3日目は、うるま市から嘉手納飛行場の上を飛び交うジェット機の爆音を聞きながら核兵器廃絶を訴えた。

23日は沖縄線慰霊の日。24日に糸満市から糸満平和公園で沖縄平和行進が終わり、初めて「戦没者遺族会」の旗を掲げて行進ができた。

に、通し行進者でがんばってくださる方に、心から感謝しあげます。二〇一七以来六回も入院した私にとつて、毎年この日を迎えられるだろうか、大丈夫だろうかと、思うようになりませんでした。こうしてみなさんにメッセージをお届けし、我が家のベランダに、横断幕で歓迎することができて、幸せに思っております。

この七月、満八十九歳を迎えております。来年は、卒寿ですが、生きてがんばるつもりです。昨日も豊中市の小学校で、一時間、起立したままで、被爆証言をしてまいりました。歩けないのですが、これは出来る、感じました。これから

も続けるつもりです。それにしても、日本政府は今年も国連での核兵器禁止条約の交渉会議の冒頭で「交渉会議不参加」を表明しました。唯一の被爆国日本の経験は、世界中から注目されておりますのに、何と恥ずかしいことでしょうか。しかし、先日大阪原水協の岩田理事長のお話で国連に参加してきたたくさんの小さい国は核兵器廃絶を願って行動している姿を見てきました、というお話を聞き、本当に嬉しいことだと思えました。

また、六月に、長崎を訪れたコスタリカの大使(国連会議議長、ホワイトさん)は日本人がもっと、声をあげてくださるようにと言っておられました(以下省略)



全国通し行進者の西田重好さんを励まそうと、池内さん(住吉区在住)が応援の演奏。We shall Overcome で行進団を送ってくださいました。ありがとうございました。